

平成28年度第2回鴨川市学校給食センター運営委員会会議録

1. 日 時 平成29年1月18日(水) 開会午後3時00分
閉会午後3時50分
2. 場 所 学校給食センター2階会議室
3. 出席者
 - (1) 学校給食センター運営委員8名
蒔苗茂委員、畠山清巳委員、塗谷和男委員、安部智子委員、高梨まゆみ委員、
栢尾光代委員、池田典子委員、林宗寛委員
 - (2) 野田純教育長 (途中退席)
 - (3) 事務局 3名
山口政美学校給食センター所長、高橋雅史係長、山口裕子栄養教諭
4. 欠席者 3名
井藤機句男委員、秋山貢輔委員、畠山元成委員

会議の概要

高 橋：皆さん。こんにちは。定刻となりましたので、只今から平成28年度第2回学校給食センター運営委員会を開催いたします。本日は、お忙しいところ、ご出席をいただきまして、ありがとうございます。本日の進行を務めさせていただきます学校給食センターの高橋と申します。どうぞよろしくお願いたします。また、本会議は、鴨川市附属機関等の会議に関する実施要領第7条により、会議録を公開することとなっておりますので、正確な議事録を作成するため、本会議を録音させていただきますので、ご理解いただきたいと思います。さて、本日の会議の出席者でございますが、委員数11名のうち、8名の方のご出席をいただいておりますので、学校給食センター設置条例第8条第2項の定足数に達していただきますことをご報告いたします。

高 橋：ここで、塗谷会長よりご挨拶を申し上げます。

塗谷会長：皆さん、こんにちは。本日は平成28年度第2回学校給食センター運営委員会を開催させていただきましたところ、委員の皆様には大変お忙しい中、ご出席いただきまして、ありがとうございます。さて、学校給食の目的は「安全」・「安心」で栄養バランスが取れた給食を提供することは勿論のことですが、学校教育の一環として食の大切さや文化などを学ぶ「食育」を実施していくことも重要な目的となっております。また、最近、学校給食でもノロウイルスを原因とした食中毒が度々発生しております。学校給食は、ひとたび食中毒を起こせば、何百、何千人もの子供たちに影響が及びますので、給食センターの皆様には、今後とも食中毒防止の基本である手洗いの励行を始め、調理の各過程における衛生管理に努めていただき、子ども達に「安全」で「安心」な給食を提供していただきたいと思います。結びにあたりまして、本日の会議が、今後の給食運営につながる有意義な会議になりま

すことを祈念いたしまして、簡単ではございますが挨拶に代えさせていただきますと思います。本日はどうぞよろしくお願いいいたします。

高 橋：ありがとうございました。続きまして、野田教育長よりご挨拶を申し上げます。

教 育 長：皆さんこんにちは。教育長の野田でございます。新年を迎えましてから、早いもので二週間が経過いたしました。暖かな正月とうって変わって、寒さも厳しさを増しておるところでございます。皆様方には益々ご健勝にて、ご活躍のこととお喜び申し上げる次第でございます。本日は、平成28年度、第2回学校給食センター運営委員会を開催させていただいたところ、皆様方には、極めてご多用の中、ご参会を賜りまして厚くお礼申し上げます。日頃、皆様方には市政の進展、とりわけ学校給食センターの業務に関しまして、格別のご理解をいただき、重ねて感謝申し上げます。ご案内のとおり、この学校給食センター運営委員会は、給食センターの運営に関する重要な事項について調査、審査していただく機関でございますので、今後とも学校給食事業の適正かつ円滑な運営につきまして、忌憚のないご意見をお伺いさせていただきたいと存じます。また、会長さんからお話がありました、皆様ご承知のことと存じますが、ノロウィルスが全国で猛威を振るっております。その影響を受けまして、この2ヶ月の間においても、新潟市や市川市で学校給食を原因とする食中毒が発生しており、新潟市では、児童110名、市川市では、児童、給食調理員、教職員の149名が、下痢や嘔吐等の症状を訴え、医療機関で診察を受けており、食中毒によって、給食提供の停止措置など多大な影響があったと聞き及んでおります。本センターにおきましても、他市の食中毒を「対岸の火事」とはせず、所長以下栄養士を初め、全職員に対して衛生管理基準の遵守を徹底させて参っているところでございます。更に、過去においては、食中毒の原因が納入業者に起因する事案も見受けられたことから、関係業者の方にも、より一層の衛生管理をお願いした次第でございます。現在、本市では、平成28年度から平成32年度を計画期間とする鴨川市第3次5か年計画及び鴨川市教育振興計画を策定しておるところでございます。そこで、折角の機会でございますので、学校給食センターに関わる主な事項につきまして、3点ほど私から触れさせていただきます。まず、1点目といたしまして、老朽化した厨房機器等の更新を計画しておるところでございます。本センターの厨房機器は、平成13年度に改築を行った建物などの施設と併せて購入した機器であり、以来、約15年が経過しております。そのために老朽化した厨房機器が、見受けられることから、平成29年度には、真空冷却機の更新を実施していきたい所存でございます。次に、2点目といたしまして、民間事業者のノウハウや専門性を活用して、給食業務の合理化・効率化を図るため、調理や配送業務等の民間委託を計画しておるところでございます。今年度は、民間委託の導入を図るための基礎調査として、県内市町村の状況などの情報収集を実施いたしました。来年度以降は、業務内容の検討、民間委託に関わる基本計画の策定など段階

的に実施しまして、平成32年を目途に、民間委託へと移行していく所存でございます。そして、3点目といたしまして、鴨川市内にも食物アレルギーを有する子ども達が多いことから、栄養バランスのとれた安全・安心でおいしい給食の提供に努めると共に、乳や卵、大豆などが含まれていないアレルギー対応食品を積極的に活用して、一人でも多くの子ども達が、クラスの仲間と一緒に、給食を食べられるよう、アレルギー対策に取り組んでいく所存であることから、一般会計から年間120百万円を賄材料費に支出して、「乳」、「山いも」を除いたカレールウや「乳」、「卵」を除去したクリスマスケーキなどをアレルギー対応食品として提供いたしました。これらの計画につきましては、一朝一夕に成果をあげることは、困難でございますが、計画に沿って邁進していく所存でございますので、委員の皆様には、ご理解のほどお願い申し上げます。また、給食費の改定でございますが、今年度、慎重に検討させていただきましたが、現段階では、時期尚早と判断いたしまして、来年度からの給食費の改定は見送りとさせていただきます。しかしながら、食料品の値上げは顕著に見受けられることから、来年度以降改めて、検討させていただきたく、委員の皆様にはご理解賜りますようお願い申し上げます。現在、市の一般会計から支出して賄材料費の一部に充てております。保護者の皆様から賄材料費の全額をいただくのが本来の形態でございますが、給食費を据え置いて、市からの支出で運営している状況でございますので、ご理解いただきたいと存じます。さて、本日の議題でございますが、平成29年度学校給食センター業務計画（案）について、平成29年度学校給食センター当初予算（案）についての2件でございます。運営委員の皆様には、慎重なるご審議を頂きたいと存じますのでよろしく願いいたします。尚、私、所用がございますので、これで退席させていただきますので、よろしく願いいたします。

高橋：それでは、議題に移りたいと思いますが、議事の進行については、学校給食センター設置条例第8条第1項によりまして、塗谷会長さんに議長をお願いいたしますので、議長席の方をお願いいたします。

塗谷会長：只今、ご指名を頂きました、塗谷でございます。皆様のご協力をいただきながら議事を進めさせて頂きたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。それでは、議題に入る前に、議事録署名人を選出したいと思っておりますが、私の方からご指名してよろしいでしょうか。

(承認あり)

塗谷会長：ありがとうございます。それでは、畠山清巳委員さんをお願いいたします。それでは、議題1「平成29年度学校給食センターの業務計画（案）」について事務局の説明を求めます。

山口所長：それでは、本日の議題1、「平成29年度学校給食センター業務計画（案）について」説明をさせていただきます。資料でございますが、お手元に配布

いたしました資料の1ページをお開き下さい。表の左側にあります、項目について、上段より、順次ご説明をさせていただきます。

初めに、「学校給食」でございます。学校給食の実施予定日数でございますが、年間を通した学校給食可能日数は、201日を予定しております。学期ごとの内訳と致しまして、1学期72日、2学期77日、3学期52日でございます。その中で各学校が受けることのできる給食日数につきましては、年間を通じて195日となります。

続きまして、「給食参観」でございます。この目的は、センター職員と園児・児童・生徒等が給食参観を通して、交流を図り、好ましい人間関係を築き、学校給食業務の大切さを理解してもらうために行っているものでございます。今年度、予定をしております、給食参観の学校等の内訳でございますが、給食を提供している全21施設を参観させていただく予定です。また、参加する職員は、所長、栄養士2名及び調理員2名の計5名でございます。

続きまして、「食指導の実践予定」でございます。各学校等との連携の中、年間を通じて行っております。内容と致しましては、栄養士による栄養面に関する授業が中心となっております。

続きまして、「預かり保育に伴う給食の実施」でございます。平成29年度は、認定こども園OURSを含めて、全9園の園児に対し、7月21日(金)から8月10日(木)までと、8月28日(月)から8月31日(木)までの間、実施する予定となっております。なお、8月14日(月)から25日(金)までは、給食業務をお休みしますが、これは、施設の整備期間として、日頃できない調理器具や調理室内など施設設備のメンテナンスを行う期間として予定するものです。平成29年度は、調理場内の設備を含めた各種補修等を行う予定です。

続きまして、「学校給食主任会議」でございます。給食業務の円滑化を図るため、幼稚園、小学校、中学校の給食主任の出席をいただき、日頃の給食業務等における意見交換の場として、例年、5月と2月の年2回、実施しているものでございます。

続きまして、「学校給食センター運営委員会」でございますが、学校給食センターの適正かつ円滑な運営を図るために、教育委員会の諮問機関として、設置されております。委員会の開催につきましては、例年、7月と2月の年2回を予定しております。ご意見をいただき、代表的な議案と致しましては、予算、決算、業務計画等がございます。以上、「平成29年度学校給食センター業務計画(案)について」の説明を終わらせていただきます。

塗谷会長：只今、事務局より説明がありましたことにつきまして、質疑に入ります。何か質疑ございますか。

塗谷会長：質問がないようですので、続きまして、議題(2)【平成29年度学校給食センター当初予算(案)について】事務局の説明を求めます。

山口所長：続きまして、「(2)平成29年度学校給食センター当初予算(案)について」をご説明申し上げます。なお、今年度当初予算につきましては、この

3月に市長選挙があることから、骨格予算ということで、基本的な運営に必要な事業のみの費用を計上させていただいておりますので、ご承知いただきたいと存じます。お手元に配布させて頂きました資料の2ページ、平成29年度学校給食センター当初予算（案）をご覧ください。

まずは、歳入からご説明させていただきます。単位は、千円でございます。20款・諸収入、4項・雑入、5目・雑入、1節・給食事業収入でございますが、この事業につきましては、児童・生徒等に給食の提供を行うため、保護者が負担する賄材料費でございます。現年度分・過年度分を合わせた予算額は、1億4349万円でございます。また、平成28年度から、東条地区に、私立の「認定こども園 OURS」が開園し、学校給食を提供しておりますことから、調理費相当額を給食費（調理分）として、負担していただく必要があり、予算額を162万6千円と見込んだところでございます。よって、これらを合わせた今年度の当初予算額は、合計1億4511万6千円と予定させていただきました。また、現年度分収入で前年度との比較をいたしますと、2.3%減の336万円の減額となっております。減額の要因といたしましては、児童数の減少によるものでございます。

続きまして、歳出について、ご説明させていただきます。この表は、事業ごとの予算となっておりますので、表の中程にある、細目欄の事業別の区分に従いまして、ご説明申し上げます。まず始めに、職員人件費は、7075万7千円の計上でございます。前年度と比較致しますと9.6%減の753万6千円の減額でございます。この事業につきましては、給食センターに勤務する職員の2節・給料、3節・扶養手当などの職員手当等です。そして、4節・共済費 でございます。各節の予算額につきましては、記載のとおりでございます。

続きまして、給食センター事務費は、2075万9千円の計上でございます。前年度と比較いたしますと2.3%増の46万8千円の増額でございます。この事業につきましては、調理場の運営に係る調理員や運転手の臨時職員の賃金、及び需用費などの経費でございます。7節・賃金1550万円、11節・需用費302万2千円、12節・役務費160万7千円、そして、13節・委託料、14節・使用料及び賃借料、19節・負担金及び補助金の経費を計上しており、各節における、予算計上額につきましては、記載のとおりでございます。

続きまして、給食センター維持管理費は、1236万9千円の計上でございます。前年度と比較いたしますと2.3%減の29万7千円の減額でございます。この事業では、施設の修繕や備品の購入費などを含んでいるところですが、今年度当初予算は、骨格予算と言うことで、工事請負費や備品購入費が、計上されておらず、経常経費の配分のみとなっております。各節における予算につきましては、11節・需用費では、ガソリン・重油の燃料費390万円、水道料や電気代の光熱水費600万円、施設や厨房機器などの修繕料95万円をそれぞれ計上しております。13節・委託料は、電気やボイ

ラー等の設備に対する保守点検委託料など、合計で151万9千円の計上でございます。そして、備考欄をご覧ください。平成29年度、補正予算での計上を見こんでいるのは、15節・工事請負費については、センター施設内の計4か所の居室を賄う、空調機器更新工事408万3千円と18節・備品購入費の主に真空冷却器の更新で1526万4千円 でございます、いずれも、老朽化による更新を行いたいとするものでございます。

続きまして、公用車費は、140万9千円の計上でございます。前年度と比較いたしますと19.3%減の33万7千円の減額でございます。この事業は、給食配送車5台、連絡車1台、残菜運搬車1台、合計7台の維持・管理に係る経費でございます。今年度は、1台更新を予定しており、導入費用は、財政課で対応する事から、その分経費が減少することとなっております。11節・需用費では、ガソリン代や軽油代の燃料費50万7千円、また、車検整備代や通常の修理代等の修繕料60万円、12節・役務費では、自動車損害保険料など18万4千円、27節・公課費では、車検時の自動車重量税11万8千円をそれぞれ計上しております。

続きまして、給食センター運営委員会運営事業は、12万5千円の計上でございます。これは、前年度と同額となっております。1節・報酬これは、運営委員に対する報酬で、日額一人あたり5500円でございます。9節・旅費は、費用弁償として2万6千円の計上となっております。先ほどの業務計画では、年2回の開催を予定しておりますが、予算では、臨時での開催を考慮し、3回分を計上しております。

続きまして、給食事業は、1億4952万6千円の計上でございます。前年度と比較いたしますと2.6%減の394万円の減額となっております。減額の要因といたしましては、児童数の減少が主なものでございます。この事業は、児童・生徒等に提供する学校給食でございます、内容といたしましては、米飯代・パン代・牛乳代・副食代などの賄材料の購入代金でございます。給食の対象者は、児童・生徒等教職員を含めまして約3000人を予定しております。給食センター全体としての平成29年度の当初予算規模につきましては、2億5494万5千円でございます、前年度と比較いたしますと4.4%減の1164万2千円の減額 となっております。以上、「平成29年度 学校給食センター当初予算（案）について」説明を終わらせていただきます。

塗谷会長 : 只今、事務局より説明がありましたことについて、質疑に入ります。

何かご質問ございますか。それでは、私から質問させていただきます。歳入の給食事業収入額と歳出の賄材料費との差額は、市が負担するというのですか。

山口所長 : はい、そうです。

塗谷会長 : 他に何かございませんか。無いようですので、本日予定しておりました議題は滞りなく終了いたしました。以上をもちまして議長の職を解かせていただきます。本日はありがとうございました。

高 橋：塗谷会長さん円滑な議事進行ありがとうございました。続きまして、会議次第5のその他として、事務局より2件報告事項がございますので、所長より報告いたします。

山口所長：それでは、「その他」の件でございますが、2件、ご報告をさせていただきたいと事がございます。「給食費の改正」の件と昨年12月議会における給食センターに関する一般質問「完全米飯実施について」の件です。

まずは、1件目でございますが、昨年7月の運営委員会で、給食費の値上げを検討しており、平成29年度からの実施を予定しておりますとのご案内をいたしたところでございます。当初予定どおり、実施をすべく、作業を進めて参りまして、改定案ができたところでございましたが、執行部との協議において、子ども支援の側面から、値上げについては、延期をさせていただくこととなりました。これまで、平成26年度に消費税が8%となって以来、消費税率の差分、3%相当額は、市の一般会計で負担をし、食材の購入に充てているところでございますが、しばらく、この状態を継続させていただきます。一方、物価上昇は、じわじわと続き、平成28年中においても、砂糖や塩、家庭用の調味料なども値上げされているところでございます。

給食費においては、皆様ご存じのとおり、学校給食法により、食材費は、保護者の方が負担することと定められておりますことから、消費税の差額分、そして、物価上昇分のご負担は、いずれにしても、お願いをすることとなります。よって、次年度以降、改めて検討を行い、ご呈示いたしたいと存じますので、ご理解いただきたいと思います。

それでは、「その他」のもう1件をご報告をさせていただきます。昨年12月の第4回定例市議会で、佐久間章市議会議員から、「完全米飯給食の導入について」ということで、一般質問を受けましたので、その概要をご報告させていただきたいと思っております。質問の内容ですが、学校給食は、栄養バランスのとれた豊かな食事を子どもに提供する事が重要であるとし、地産地消の取り組みもある中、平成21年の文科省通知では、すでに過半を占める週3回以上の学校等については、4回、5回と実施回数の増加を目標とし、取り組むようにと、通知されている。また、近隣の南房総市では、子どもたちの嗜好に合わせたものではなく、大人が子どもたちに食べさせたい、伝えたいと思う地域で昔から食べられているメニューで完全米飯給食を実施した、とし、鴨川市は、どうなのか、という主旨で、4点のご質問をいただきました。

まず、1点目、米飯給食の実施回数は、どのくらいか、という質問では、週3回の米飯、残り2回のパン食と回答しました。

次に、2点目、米飯とパン食の単価の相違による財政負担は、どの程度になるのか、という質問では、パン食の方が安く、その価格差は、1食当たり約3.5円、月額約63円ほどの増額となり、年間では、約203万円の負担増となりますと回答しました。

次に、3点目、米飯とパン食の残食率の統計はあるのか、との質問では、市の調査はないが、千葉県の調査で、本市、長狭小学校が該当した平成24

年と平成25年度に実施した結果では、両年度ともほぼ同じで、米飯で、16.5%、パンでは、10.3%から10.4%、となり、米飯の残食率が、6ポイント強高い状況と回答しました。

最後の4点目では、児童生徒たちへのアンケートはあるのか、という質問でしたが、過去に実施した小学校2年生、5年生及び中学校2年生を対象とするアンケートでは、「給食の主食についてどう思いますか」との間に、「今のままでよい」が、52%、「パンを増やして」が、27%、「ご飯を増やして」が、21%、という状況でした。

この他にも、給食参観で各学校を周り、子どもたちに要望を聞くなど、また、運営委員会や給食主任者会議など、保護者の方々や学校関係者で構成する会議なども開催しており、状況把握には努めているところです、と回答いたしました。本市としては、食事をバランスよく食べていただく事を念頭に、現在のような形で給食を提供しており、また、実際のところ、ご飯が好きな子やパンが好きな子など嗜好も様々ですので、現状のままで提供で参りたいと考えております。

議員の質問では、最後に、教育長の考え・思いをお聞きしたいとの事でしたので、野田教育長より、「食べさせたいではなく、子どもたちが残さず食べる楽しい給食時間」という思いを伝えたところでございます。さらに、本市では、一人でも多くの子もたちが、クラスの仲間と一緒に給食が食べられるようにと、アレルギー対応食品の購入費支援として、年間120万円を賄材材料費に支出している旨も説明し、ご理解をいただいたところでございます。以上でございます。

高 橋：所長より2件報告がありましたが、質問ございますか。

蒔苗委員：給食費の改定の件ですが、当初は来年度から給食費が改定される予定でしたが、子ども支援の観点から来年度からの改定を見送るとの説明でしたが、いつ改定する予定ですか。

山口所長：時期としては、不明です。29年度には、再検討させていただきます。

蒔苗委員：安房郡市の中で、鴨川市の給食費は、一番安いですか。

山口所長：館山市、南房総市より安く、鋸南町より若干高くなっております。

蒔苗委員：給食の残ばん量の現状はどうなっておりますか。

山口栄養教諭：日々、残食のデーターをつけております。現状としては、メニューや組み合わせによって、異なってきますので、それらを参考に献立を作成しております。また、給食参観では、子ども達に味付けなどの好みを伺える良い機会でもありますので、それらを勘案して今後の献立作成に活用していきたいと考えております。

林委員：地産池消の割合はどのくらいですか。

山口所長：平成27年度での金額ベースでは、13.3%です。

高 橋：他に何かございますか。ないようですので、以上をもちまして学校給食

センター運営委員会を終了いたします。本日は、どうもありがとうございました。

鴨川市附属機関等の会議の公開に関する実施要領第7条第3項の規定により、会議録の確認をします。

平成29年2月22日

(会議録署名人)

鴨川市学校給食センター運営委員

氏名 畠山 清巳 印